

～イブニングセミナー東京～



# 京都大学技術士会 第9回講演会

## 『工学と理学の狭間』

～我々はどこに向かえば良いのか～

日時：平成29年9月20日（水）18:00～19:30 ※受付開始17:30

主催：京都大学技術士会

場所：京都大学東京オフィス ※下記地図参照



講師

阪口 秀（さかぐち ひで）

国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)

研究担当理事補佐（兼務）数理科学・先端技術研究分野長

- 1981年 京都大学農学部農業工学科 入学  
ウィスコンシン州立大学マディソン校大学院土木工学科、京都大学大学院農学  
研究科農業工学専攻博士課程等を経て
- 1991年 神戸大学農学部農業工学科助手 着任
- 1995年 文部科学省在外研究員制度にてオーストラリアCSIRO Division of Exploration &  
Mining 客員研究員着任
- 1998年 神戸大学退職後オーストラリア永住権を得てCSIRO Division of Exploration &  
Mining 主任研究員等を歴任、理化学研究所 素形材工学特別研究員
- 2003年 海洋科学技術センター(現JAMSTEC) グループリーダー 着任  
以後、JAMSTEC各部署のチームリーダー・プログラムディレクターを歴任  
東京大学地震研究所客員教授、横浜国立大学理学部客員教授、神戸大学大学院  
システム情報学研究科客員教授を歴任
- 2014年 JAMSTEC 数理科学・先端技術研究分野長 着任  
神戸大学都市安全研究センター客員教授
- 2015年 JAMSTEC 研究担当理事補佐 着任  
(現在に至る)

### 講演内容：

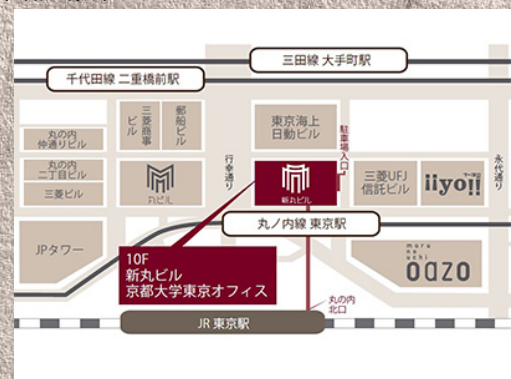
私は、大学学部で農業土木、大学院でアメリカに留学して土木工学を学び、研究職に就いてからも農業土木、土木、鉱山、探査、材料、地震、地質、情報、計算力学、数理科学等々、非常に広い分野を渡り歩いてきました。「どれも中途半端で素人臭い」と云われても仕方ありませんが、職業としてこれだけ広く多種多様な項目に従事できることはなかなかありません。一方、昨今では、政府や自治体、産業界でも「異分野融合」「学際連携」などといったスローガンを良く耳にされると思いますが、果たして、これらの試みはどのような効果を挙げているのでしょうか？例えば、我が国に課された永遠の大問題である「地震」に対して、未だに工学的視点と理学的視点での議論が全く噛み合っていないことは周知の事実です。この問題は、どこに原因があり、今後、どこに向かえば良いのでしょうか？

参加費：講演会2000円（懇親会は開催致しません）

申込み方法(インターネットで申込みをお願いします)

京都大学技術士会のホームページ <http://ku-pe.net/> のトップページにあるイベント案内「お申し込みはこちらから!」から申込みしてください。

### 開催場所：



交通手段

JR、東京メトロ丸の内線「東京駅」直結  
東京駅新幹線ホームより徒歩10分。丸の内北口改札出ですぐ